ハンドマイク街頭演説原稿例　新年度国家予算案

二〇二五年一月九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。２０２５年もよろしくお願いいたします。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　今年は夏に参議院選挙があります。昨年の衆議院総選挙で自民・公明の与党が過半数に届かなかったことで、私たちの願いが実現するチャンスが生まれました。今度は参議院でも与党を少数に追い込み、願い実現のチャンスをさらに大きくするために、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む５議席の獲得、定数４の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党にみなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　さてみなさん、昨年末に二〇二五年度の国の予算案が発表されました。基本的な予算である一般会計総額は約百十六兆円で、過去最大の規模です。この中に、私たちの願いはどれだけ盛り込まれたでしょうか。

　目立つのは軍事費・防衛費が八兆七千億円と、初めて八兆円を超えたことです。この金額は、教育などのための文教費の２倍以上です。しかもその中身は、外国の領内にある基地を直接攻撃するための射程距離の長いミサイルなど、他国を積極的に攻撃するような武器や装備のための費用が大幅に増えています。また、以前購入した武器などのローン支払いも大きく増えています。「日本を守る」というたてまえを投げ捨て、アメリカといっしょに戦争する国に日本を変えようとするものであり、許すわけにはいきません。

　これだけ軍事費を増やすために、私たちの生活にかかわる予算は低く抑えられているのも、新年度予算案の特徴です。お年寄りの人口が増えることで増加するはずの社会保障費の自然増を千三百億円もけずりました。高すぎる大学の学費のさらなる値上げを止めたり引き下げたりするための予算措置はなく、学校の先生が足りないという問題についても根本的な問題を解決するための対策も盛り込まれていません。巨大企業向けの支援策には大盤振る舞いをする一方で、中小企業向けの予算はごくわずか、働く人たちの賃上げ支援や物価高騰対策にも、まともに取り組もうとしていません。石破自公政権が国民生活のことを考えていないことが、この予算案からもはっきりしているのではないでしょうか。

　ところでみなさん、予算は衆議院で否決されたら成立しないルールです。現在、石破政権与党の自民党と公明党だけでは衆議院の過半数に届かず、野党すべてが反対すれば予算案は通りません。野党が予算案にどのような態度を取るかが厳しく問われます。日本共産党は、国民の切実な要求を実現し、暮らしと平和を守る予算にするため、予算案の抜本的な組み替えを求め、みなさんと力を合わせて国会の内外でたたかう決意です。日本共産党へのご支持、ご支援をどうぞよろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）